

第一回 介護・医療連携推進会議 議事録

開催日:令和 8 年 1 月 19 日(月)10:30～

場 所:沼市民センター 会議室 1

会議の目的

- 1.定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの理解を深める
- 2.弊社の活動報告
- 3.事例を通して多角的意見を伺い、サービス向上を図る

1.定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの理解を深める

※参考資料にて事業概要説明

2.弊社の活動報告

①職員状況(R8.1.19 現在)

役員2名、正社員2名、パート職員 1 名 計 5 名

(准看護師2名、介護福祉士2名、看護師 1 名)

※現在パート職員を 4 名募集中

②利用者様数推移(R.1.19 現在)

列1	2025年8月	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月	合計
要介護1	1	2	2	2	1	3	11
要介護2		1		2	3	4	10
要介護3			1	6	5	3	15
要介護4			1	1	1	1	4
要介護5				1	2	2	5
暫定	1		4	2	1	2	10
合計	2	3	8	14	13	15	

③定期巡回サービスの普及活動

●オンライン研修会開催

※R7.8 月、R7.9 月に開催

●居宅介護支援事業所へ事業内容説明

居宅介護支援事業所の研修の一環として定期巡回サービスの
事業内容説明会を開催

※R7.8～R8.1 月までに 10 事業所で説明会実施

●沼緑町の福祉協力委員として活動

※R7.10.21 第二回連絡調整会議で介護保険・定期巡回サービスに関して講演

●訪問看護事業所へ定期巡回サービスの事業内容説明・新規連携を図る

※R8.1 月現在で訪問看護ステーション 6 事業所と連携

3.事例を通して多角的意見を伺い、サービス向上を図る

①認知症、不安神経症のある高齢女性に対する支援内容を報告

介入前の課題

服薬管理できない、介入拒否の可能性、生活状況が不明、ご家族の介護負担が大きい

介入内容

毎日の服薬確認、毎日訪問で関係性構築、毎日訪問で生活状況を把握し対応、
家族・訪問看護に対する不安を訴える電話を弊社にかけること家族の介護負担軽減

ご家族からの言葉

よりそいさんのおかげで家族は救われております。

もし、支援なしで生活していたら、私たちも壊れていたかもしれません。

母もヘルパーさんが来てくれるので安心していると思います。

感謝の気持ちでいっぱいです。

②構成員からの意見・評価

●地域の医療関係者(訪問看護ステーション)による評価・指導。

・緊急コール対応の安心感

今回の事例では、本人の不安から家族・訪問看護へ連絡が頻回にあった。

よりそいが介入後、不安の相談が一本化されたため本人の安心に繋がり、家族・訪問看護側への電話連絡もなくなり負担軽減できた。

緊急コールで「そうだんできる相手がいる」という安心感は定期巡回の良さだと思うので続けてもらいたい。

●地域住民の代表者(自治連合会会長・市民センター館長)による評価・指導

・地域活動への参画

福祉協力委員としての活動や、沼緑町の福祉協力委員会での講演活動を行って地域活動にも尽力してくれている。

しかし、まだまだ地域にサービスが知られていないと思う。

定期巡回のようなサービスを必要としている方々は沼緑町には多くいらっしゃると思うし、今後も増えていくと思う。

沼市民センターで地域に向けた活動・イベントにできるだけ参加してもらい、顔の見える関係性を作っていってもらえれば、介護を必要とするときに、サービス利用に繋がると考える。

●当該サービスに知見を有する者(北九州市介護保険課)による評価・指導

・多職種連携の評価

活動報告において、すでに訪問看護ステーション 6 事業所と連携を図っている点は、24 時間対応のサービスとして非常に重要であり、高く評価できる。

・地域活動への参画

福祉協力委員としての活動や、講演活動を行って地域に入っていく努力が見受けられる。

定期巡回のサービスが必要な方へ適切にサービスを届けられるように活動を継続してもらいたい。

・事業運営の報告に関して

マニュアルに基づいて事業運営をおこなっていると思う。

「安全対策マニュアルに沿ったヒヤリハット報告の報告」や「身体拘束廃止マニュアルに沿った職員への指導内容」などを次回会議では報告してください。

・虐待防止と身体拘束の廃止

運営の透明性を高めるため、事業所内に設置が義務付けられている「高齢者虐待防止」や「身体拘束廃止」のための委員会の活動状況を、今後の会議で報告してください。